

HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL (0463) 81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL (0463) 81-1355

例会日 毎週木曜日 12 時 30 分～13 時 30 分

会 長 諸星道治 幹 事 鈴木和夫 会報委員長 山田文雄



インスピレーションになろう

2018年～2019 年度国際ロータリー会長
バリー・ラシン

第 1 6 2 5 回例会 2 0 1 8 年 1 1 月 1 5 日 (木) (晴)

司 会 陶山典之副幹事

点 鐘 諸星道治会長

合 唱 「それこそロータリー」 (原恵美子さん)

ビジター紹介 かながわ 2780 ロータリー E クラブ
会長 原いづみ様

会長の時間

○11/1 開催「定例理事会」の報告、詳細につきましてはホームページ 11/1 の例会週報の後半部分に議事録を掲載してありますので参照願います。

○11/3 市民の日 3 クラブ合同麻薬撲滅キャンペーン・ポリオ撲滅キャンペーンに多くの参加ありがとうございました。募金は合計 49,025 円集まり、名水 RC は 11,300 円を地区に報告しております。

当日は 8 時から少年野球の開会式に出席し、その後保護司会に出たり、RC のポリオ撲滅キャンペーンに参加、午後から体育館で市民表彰に参加しました。青少年奉仕委員長の関さんも MOA 美術館の表彰式に出席してもらいました。



< 秦野市からの感謝状 >

○今月の商工会議所での例会は終わります。11/17(土)は 7 グループの IM に振替と 11/25(日)～26(月)の親睦バス旅行があります。是非、IM とバス旅行には多くの参加をお願い致します。

幹 事 報 告

【受付文書】

- ①東日観光(株)より、2019 年国際大会(ハンプブルグ)参加旅行募集案内送付のご案内
- ②R I 日本事務局より、財団室ニュース 11 月号
- ③秦野市教育委員会より、第 9 回親子川柳大会表彰式の開催についてのご案内

会員数	31 名
出席義務	31 名
出席数	25 名
出席率	80.65%
前々回の修正	83.87%

メークアップ	【事後】
	淵脇さん(11/6 秦野) 大屋さん(11/2 秦野中)

本日のプログラム	11 月 15 日
	○卓話 原郁夫さん

次週のプログラム	11 月 17 日
	○例会変更 第 7 グループ IM <伊勢原 RC> (11/22 分例会変更)

④湘南シーガルより、御礼状

⑤社会福祉法人ビーハッピーみのりの家より、感謝のバ
ザー案内

⑥オークラフロンティア海老名より、ご案内

⑦米山記念奨学会より、ハイライトよねやま 224

⑧ " 表彰 第3回マルチプル 木村
さん、古谷さん

【例会変更】

《伊勢原平成》

12月4日(火)クリスマス家族親睦会→ 12月5日(水)
横浜方面

《秦野中》

12月14日(金)→ 12月15日(土)クリスマス親睦会に
振替

12月21日(金)→ 12月23日(日)移動例会 ヤマユリ
の里づくり
点鐘：9時、場所：震生湖付近

12月28日(金)→ 年末休会

【本日の配布物】

①ガバナー月信 11月号

表 彰

第3回マルチプル 木村眞澄さん、古谷スミ子さん



記 念 日

御入会記念日 古谷さん(12/5)

会社創業記念日 諸星道さん(12/1)

御結婚記念日 淵脇さん(11/23)

御誕生記念日(会員) 山田さん(11/22)、
諸星常さん(11/28)

(奥様・ご主人) 兒玉美紀子さん(11/20)、大屋トキ江
さん(11/28)、仲野芳明さん(11/29)



スマイル報告

○諸星道治さん「創業記念ありがとうございます。久々の
例会です。一度くらいは出席率100%で臨みたいで
すね。」

○鈴木和夫さん「富士見橋付近から晩秋の富士山がはつき
り見えました。冠雪をした富士山とてもキレイでした。

11月17日第7グループIM、よろしくお願い致します。」

○大屋富茂さん「昔かわいかった家内もおつかない！
11/28 72才となりますが、お陰様で元気でやっておりま
す。」

○神崎達朗さん「スマイルします。」

○北村俊和さん「いよいよ寒くなってきました。スマイル
します。」

○木村眞澄さん「秋も深まりたいぶ寒くなりました。皆さ
んお体に気を付けて下さいね。」

○北村まり子さん「秋になり初めて床暖を付けました。」

○桐山晃忠さん「健康に優る富は無しとつくづく思いまし
た。創業記念品ありがとうございました。」

○陶山典之さん「スマイルします。」

○関隆明さん「スマイルします。」

○仲野亜津子さん「秋晴れで気持ちが良い日ですね。主人
の誕生祝いありがとうございます。」

○原郁夫さん「素晴らしい秋晴れですね。スマイルします。」

○原恵美子さん「10日から11日と諏訪湖に孫たちと紅葉
を見に行ってきました。10日程前に行った時“もう少し
かな？”というところでしたので、とてもきれいに色づ
いていて感動しました。孫たちといつまで一緒に出掛け
られるのか・・・と思うととても大切な時間だと思いまし
た。」

○淵脇美代子さん「結婚お祝いありがとうございます。49
年になります。これからも健康で楽しく過ごせますよう
お祝いをしたいと思います。」

○古谷スミ子さん「平成11年12月5日入会です。何年にな
るか計算できませんが永い永い間お世話になりました。
ありがとうございます。」

○福原美千加さん「スマイルします。」

○諸星利男さん「スマイルします。」

○諸星常平さん「誕生祝いありがとうございます。66才にな
ります。」

○山田文雄さん「先日献血をして血液検査をしてもらった
らすべてAでした。50代最後の誕生日ですが、これからも
健康に留意するつもりです。」

○山谷洋子さん「11/10 社会・国際奉仕セミナーに参加し
て来ました。他クラブの活動を聴き、大変勉強になりました。」

○山本裕宣さん「スマイルします。」

○米山君夫さん「今日もたくさんのスマイルありがとうございます。また次回もよろしくお願いします。」

合計 71,000 円

卓 話

<原 郁夫さん>



委員会及びその他の報告

<社会奉仕委員会 古谷委員長>

○12/1(土)にカルチャーパークの落ち葉拾いを行います。少年野球チームにもお願いしており、総勢200名位の参加がある様です。よって名水RCの方も是非参加をお願い致します。集合は噴水前に10時となっており、例会ではありませんが、メーキャップの扱いになりますので。

<親睦活動委員会 諸星常委員長>

○11/25(日)~26(月)のハッ場ダム視察バス旅行ですが、参加者15名です。大分寒くなってきたので服装は十分留意下さい。最終スケジュールを配信の際に天気予報も追記しておきます。

○クリスマス会は、商工会議所4Fで行います。参加についてはお子さん、お孫さんの奮っての参加をお願い致します。来週からFAXにて皆さんに配信しますのでよろしくお願い致します。

<IM企画委員会 大屋委員>

○11月17日(土)伊勢原で行われるIMに是非参加をお願い致します。欠席で出されている方も今からでも大丈夫ですので参加をお願いしたいと思います。

<プログラム委員会 桐山委員長>

○12月予定

12月06日→卓話(西村さん)、定例理事会

〃13日→年次総会 次年度理事・役員発表

〃20日→夜間例会 家族親睦クリスマス会

〃27日→休会

<青少年奉仕委員会 関委員長>

○11/3(土)・4(日)にMOA美術展がありました。飾っているのは、“名水ロータリークラブ賞”の書道と絵画です。書道は4年生の女子、絵画は2年生の男子の作品です。



○今月は“財団月間”ということで、過去に“財団資金推進委員会委員長”を務めさせて頂きましたので本日卓話をさせて頂くことになりました。

この“財団資金推進委員会”は一言でいえば寄付をお願いする、所謂お金を集めて来なさいと言うところでした。

○ロータリー財団とは何かと言いますと、国際ロータリーのロータリー財団です。国際ロータリーとロータリー財団に違いがあるのでしょうかということでは、ロータリーの奉仕の理想を信奉する点では一体のものとなります。「ロータリークラブは場所を問わず一つの基本的理想を持っている。それは奉仕の理想で他の人々を思いやり、他の人々の役に立つことです」と資料に書かれています。また、1987年-88年度RI会長 チャールズ・ケラー氏が「奉仕の理想は人々を繋ぐ真の絆です。奉仕とは単に良いことをするだけではなく、人々の役に立つことです。世界では人々が異なる言葉を話し、異なる食事をし、異なる服を着て、異なる宗教を信奉しています。ロータリーではその絆が超我的奉仕という理想なのです」と言われています。

ここに“奉仕”という言葉が多く出てきますが、よくロータリーは奉仕団体かと言われますが、ロータリーは奉仕団体ではなく奉仕をする気持ちを持った方が集まっているのがロータリークラブだと教育されてきました。

○このロータリー財団の父と言われている6代目RI会長アーチ・克蘭フが「ロータリー基金を作り、世界的規模で慈善・教育・その他の社会奉仕の分野で何か良いことをしようではないか」と国際大会で提案されました。数か月後に米貨26ドル50セントの最初の寄付金から始まりました。基金がやがてロータリー財団に発展していく過程の出来事です。

アーチ・克蘭フがクリーブランドRCの会長を務めクラブ会長として最後のスピーチで、今後クラブが多くのことができるように「非常時基金」を作ること提案し、このことは4年後のアトランタ国際大会で「ロータリーが基金を作り良いことをしようではないか」という

ことで再登場します。各地のロータリアンが目先の世界の出来事に目を奪われている第一次世界大戦中にアーチ・クランプが提起されたということは、その理想の素晴らしさの証と言えましょう。ここにロータリー財団の原型が誕生したわけです。

またアーチ・クランプは「我々はこの財団を今日・明日の時点ではなく、何年・何世代の尺度で見つめるべきだ。何故なら、ロータリーは幾世紀にも亘る運動なのだから。」と言われてます。

○ロータリー財団はどのように発展してきたかと言いますと、ロータリー創始者ポール・ハリスが1947年1月に自宅で亡くなられ、70か国以上30万人以上のロータリアンがその死を悼みました。しかしこの死は財団の転換点になりました。ポール・ハリスの逝去で国際ロータリーに寄付が相次いで寄せられ、財団は記念基金を設けポール・ハリスに敬意を表したいロータリアンに対して財団寄付をお願いしました。その反響は素晴らしいもので、翌年の7月までに米貨130万ドル以上が寄せられたそうです。以上のことが財団としての寄付が大々的に始まったスタートだと思います。

○1947年には最初の財団プログラムが実現されました。それは高等研究奨学金と呼ばれるもので、これが最初のロータリー国際親善奨学生でした。

財団の発展はプログラムを開発した時に始まりました。世界中のロータリアンの心を捉えたプログラムでどのプログラムもロータリーの理想を掲げ、育むものばかりです。

1957年に財団は、財団の活動に寄付した方々への感謝を示す手段としてポール・ハリスフェローの認証を開始しました。1000ドル～1999ドルの方がポール・ハリスフェローになり、2000ドル～マルチプル・ポールハリスフェローになります。また大口寄付(1万ドル/回)やメジャードナー(累積で1万ドル以上に達する)があります。

田中作次様がR I 会長になられるのを機会に日本からもアーチクラブが続々と出ています。

○昨今、ロータリーも変わってきたと言われます。ロータリー財団の寄付・米山記念奨学会への寄付・クラブにおいてはスマイルという寄付がありますが、「寄付は強制ですか?」と寂しいことを聞く機会があります。先程も話しましたが、奉仕をしようという方々の集まりだと思いますので、失礼な言い方をしますが、皆さんは事業に成功している方々の集まりなので、是非気持ちの上でまた皆さんの努力でお稼ぎになっていると思います。皆さんが経営努力をして会社を大きくしている方、一生懸命勉強していい学歴を付けて良い地位につかれる方、皆さん自身の努力の他に会社のスタッフの努力も会社

を盛り上げていると思います。そしてお得意様も協力して頂き取引が成立し会社が発展していく、そんな形で自分だけの努力でなく周りの方にも支えられて私も皆さんも事業が成功しているのではないかと思います。

儲けたものを全部ひとり占めではなくて、生活にゆとりが出てきたら世の中に還元しようかなという気持ちがロータリアンとしての本来の考え方だと思います。

3.11 東日本大震災以降、熊本地震・西日本豪雨災害・北海道胆振東部地震等、地区からも寄付の要請が来ています。社会奉仕委員長の古谷さんが「援助を頂く側でなく出す方で良かった」と言われています。財団の寄付を始めスマイルも含めたいろいろな寄付も強制ではなく気持ちの中から寄付をするということをお願いしたいと思います。

また補助金ですが、当地区で集まった寄付をR Iに出しますが、3年後に50%は戻って来て地区の補助金として使えます。因みに2780地区では財団寄付が“0”というクラブはありません。日本は34地区の中でも“0”クラブをなくそうとセミナーでも出てきています。世界中で良いことをしようということで財団寄付の協力をされているわけなので、今後も財団・米山奨学・スマイルとよろしくお願い致します。

